令和6年度 子どもゆめ基金助成活動
2440015 『除雪ボランティア体験活動』
実施要綱

札幌丘珠ソーシャルネットワーク研究会 会長 駒嶺 優子
(R06.12.8 退会) 役員 中山 太
(R06.12.8 入会) 役員 前田 修宏
事務局 小川 幸彰

- 1 主催 札幌丘珠ソーシャルネットワーク研究会
〒060-0909 札幌市東区北9条東7丁目1番1号さっぽろ村ラジオ局 内
- 2 活動日時 説明会 令和6年12月 8日(日) 午前 10:00 ~ 11:00 札幌ツドーム2階 ミティングルーム
下見 令和7年 1月11日(土)
活動日 令和7年 1月12日(日) 午後 12:30 ~ 16:00 バス 移動スタート13:00
予備日 令和7年 2月 9日(日) 午後 12:30 ~ 16:00 バス 移動スタート13:00
活動日 令和7年 2月16日(日) 午後 12:30 ~ 16:00 バス 移動スタート13:00
- 3 集合場所 札幌栄リトルシニア球団 屋内練習場前 オリエンテーション開始 午前 12:30
〒007-0852 札幌市東区栄町901番32 集合場所責任者: 前田
- 4 参加者 定員20名/日 公募期間: R6.12.13(金)~R6.12.26(木) 平日: 午前10時 ~ 午後4時
- 5 参加料 無料 (公募対象者: 小6年 ~ 中学2年)
- 6 活動地域
 - ・札幌市東区東苗穂14条近郊 (5世帯程 札幌苗連合町内会自治区)
 - ・札幌市北区 ビレッジハウス新川 (高齢者15世帯程 物置前)
- 7 活動趣旨 子どもたちは、地域の解決課題や奉仕活動については、机上では、十分学校でその知識を習得しています。しかし、身近で現実的な地域解決課題への取り組みに参加した体験は、多くありません。この活動は、子どもたちが、学校時間では、交流する機会の少ない地域住民とともに、現実的な地域解決課題に、直接かかわり、子どもたちに『地域と自己が協働する力』を試行する機会、『地域解決課題』や『地域から自己が必要とされていること』の気づきの機会を創造することをこの活動の目的にします。

A: 地域解決課題への気づき
子どもたちが、地域の一員として、降雪地域降雪時期の限界集落地域、独居老人宅の除雪の担い手不足といった地域解決課題に気がつき、地域除雪奉仕活動の一端を担う体験から、子どもたちの自立心や社会性を育み、参加した奉仕活動に『おごり』ではなく『誇り』を持たせることを活動の大きなねらいとする。

B: 地域から共感される除雪ボランティアの試行体験
地域奉仕活動に参加する上で、最低限の自己責任のルールについて考える。ケガをしない。ケガに繋がる行為をしない。物品を壊さない。なくさない。トイレで他人の力を借りない。(野外活動のため野外にはトイレがなく、事前にトイレを済ませるの意) 挨拶できるなど。地域ボランティアの最低限のルールを理解し体験させる。

C: 地域要擁護者や持続可能な奉仕活動の地域連携・住民協働の必要性への気づき
参加者を大人との小グループに分け除雪奉仕活動をもって、参加者に『大人と協働する力』を総合的に試行体験させる。活動終了後、参加者自身が『地域から必要とされていること』『責任を担う地域住民の一員であること』の気づきを促し、参加者の『大人と協働する力』を総合的に試行体験学習させる。
- 8、その他 この活動が、福祉活動ではなく、青少年の体験学習活動(地域貢献 体験学習活動)である点にご配慮ください。また、参加者公募ポスターにある注意事項をご承諾の上、当該活動の指導・運営に 何卒 ご協力ください。自家用車の持込みは、公道に駐車場スペースがなく原則禁止です。やむなく持込む際は、持込車両の事故は、持込車両の自動車保険を適用してください。当該活動の様子については、SNS・HP等への無断掲載・投稿は、ご遠慮ください。

(誤字脱字ご容赦)